

一部事務組合下北医療センターむつ総合病院再建事業
基本設計業務委託に係るプロポーザル審査結果報告書

令和8年6月15日

一部事務組合下北医療センターむつ総合病院再建事業
基本設計業務委託に係るプロポーザル審査委員会

1 審査結果

一部事務組合下北医療センターむつ総合病院再建事業基本設計業務委託に係るプロポーザル審査委員会（以下、「プロポーザル審査委員会」という。）による公平・公正な審査を実施した結果、次のとおり決定いたしました。

| |
|--|
| <p>○ 受注候補者</p> <p>株式会社佐藤総合計画</p> <p>○ 次点者</p> <p>株式会社内藤建築事務所</p> |
|--|

2 審査の経過

(1) 選定スケジュール

一部事務組合下北医療センターむつ総合病院再建事業基本設計業務委託（以下、「本業務」という。）の受注候補者選定までのスケジュールを示します。

| 日 程 | 内 容 |
|--------------|---|
| 令和8年3月18日（木） | 第1回プロポーザル審査委員会 |
| 令和8年4月21日（火） | 公 告 |
| 令和8年5月13日（木） | 参加申込提出期限 |
| 令和8年6月 4日（木） | 企画提案書提出期限 |
| 令和8年6月 9日（火） | プレゼンテーション及びヒアリング並びに第2回プロポーザル審査委員会の開催。同日、受注候補者決定 |

(2) 参加資格審査（令和8年5月13日）

参加資格審査は、参加表明があった2者について、提出された参加申込書等の書類により審査を行いました。審査は、一部事務組合下北医療センターむつ総合病院再建事業基本設計業務委託に係るプロポーザル実施要領に基づき行われ、2者は参加資格を有していることが確認されました。

(3) プレゼンテーション及びヒアリング審査（令和8年6月9日）

匿名化した2者の企画提案書（参加申込受付順に業者A、業者Bと表記）をもとに、プレゼンテーション及びヒアリングを実施し、終了後、第2回プロポーザル審査委員会を開催。受注候補者を決定しました。

3 講評

本業務は、既存外来棟との一体的な機能整備、新病棟建設工事及び既存建物の改修工事の設計業務などの多岐わたり対応し得る、豊富な実績と高い提案能力が求められました。プロポーザルの審査においては、設計において大きな比重を占める院内協議の進め方及び一部事務組合下北医療センターむつ総合病院再建基本計画を十分理解した上で設計業務を進めていく必要があり、一日も早い安全・安心な病院再建を計画的に進めるため、次に示す5項目を提案課題としました。

項目1 早期に新病棟の整備が必要であることから、どのように進めていくことが重要と考えているのか、院内及び関係機関等との協議の進め方、効率的に業務を進める上で発注者に求めること等を加味した上で、具体的に記載すること。

項目2 再建基本計画で示している「災害等の対応拠点としての整備」、「安全・安心で快適な療養環境の整備」及び「効率的で環境に配慮した整備」の3つの整備についてそれぞれ具体的に記載すること。

項目3 「患者が心地よく安心して療養できる環境」及び「病院スタッフが働きやすく、継続して働きたくなる環境」を兼ねる環境づくりについて、具体的に記載すること。

項目4 建設費が高騰している中において、建設事業費の縮減に関して基本設計中の取組及びランニングコストの縮減対策を、具体的に記載すること。

項目5 病院の基本設計をする際に、貴社が最も重要であると考えた事項を提示し、当該事項を選択した理由及びその事項について、当院の基本設計を行う際にどの様に反映させるか、貴社が基本設計を行う上で心掛けている点を含め、具体的に記載すること。

結果、いずれの参加者も豊富な知識と経験、また、高度な企画・調整能力及び技術力のもと優れた企画提案をいただき、甲乙つけ難いという評価が大半でありました。

その中で、受注候補者に選定した「株式会社佐藤総合計画」については、病院側の求める要望を的確に理解し、業務全体の理解度について高く評価されました。提案内容についても、「前倒し設計工程」による発注準備の円滑化と全体工期短縮、工事費・ランニングコスト縮減（建物形状最適化、断熱強化、換気制御、照明対策）及びプラン効率化で床面積を縮小、それに伴うプラスアルファの提案などが評価されました。上記の評価点を踏まえ、全体を通じてバランス良くまとめられており、総合的に判断し、受注候補者に選定いたしました。

本業務においては、短い期間の中、参加していただいたすべての皆様へ心よりお礼申し上げます。

一部事務組合下北医療センターむつ総合病院
再建事業基本設計業務委託に係るプロポーザル審査委員会
委員長 松浦 修